

上位陣が順当勝ち！ 大崎は紡織の挑戦退け2位キープ

～第33回日本ハンドボールリーグ第13週～

第33回日本ハンドボールリーグ第13週は12月6日、山形などで男子のみ5試合が行われ、首位の大同特殊鋼がHondaに快勝したほか、大崎電気はトヨタ紡織九州の挑戦を退けて2位の座をキープ、トヨタ車体、湧永製菓の上位陣も危なげなく勝ち星を積み上げた。

今週のハイライトは佐賀での紡織-大崎戦。車体、湧永と勝点で並ぶ紡織は第10週で大同を倒すなど現在4連勝と絶好調、ホームで迎えたこの一戦をものにすれば3年ぶりのプレーオフ進出に大きく近づけるとあって気合充分で臨んだ。しかし、1588人の大観衆が見守る中、試合の主導権を握ったのは大崎。序盤は1点を争うシーソーゲームを展開したが、15分過ぎから堅いディフェンスからオフenseのリズムをつかんだ大崎が猪妻、内田らのスピードあふれるプレーで8点を連取、GK濱口が2本の7mスローを阻む好セーブもあって19-10と大量リードで前半を終了。後半立ち上がり、紡織は村上秀らで反撃に出たが、大崎はエース宮崎が2試合連続となる10得点をマークするなどダイナミックなプレーでコートに躍動、泉原のミドルなどで追いつがる紡織を突き放した。

1000人を超える観衆を集めた山形での2試合は車体と大同が順当勝ちした。車体-豊田合成戦は、車体・香川の通算400得点目のゴールでゲームがスタート。合成も今村のミドルなどで攻撃するが、車体の堅いディフェンスを崩すことができず徐々に点差が離れていった。香川、門山らの活躍で前半21-10と大差をつけた車体は、後半もGK田平の好セーブなどで合成の反撃を許さず、鮮やかなスカイプレーで会場を湧かせる妙技もあって36-19で圧勝した。

続く大同-Honda戦は、開始5分まで大同・白のカットインやHonda・柳本のサイドシュートなどで互角の展開だったが、その後はHondaのパスミス速攻につなげた大同がスピードあふれる攻守でゲームを支配、20-12と8点リードで前半を折り返した。後半も大同は白のミドル、カットインを中心に着実に加点、河瀬のポストなどで反撃するHondaに付け入るスキを与えなかった。

福井での北陸電力-トヨタ自動車戦は、立ち上がりから一進一退の攻防を展開。栗崎のポスト、光増のロングを中心に得点する自動車に対し、北電は神田のミドル、落合のポストなどで応戦した。北電は13-15と2点ビハインドで迎えた後半、CP5人の苦しい立ち上がりだったが、ここでエース神田の2連打で同点に追いつくと、その後も神田が強烈なミドルを連発、高橋もサイドから確実に決めるなどで一気にペースをつかんだ。自動車も中盤にはディフェンスを4:2にシフトチェンジして流れを変えようとしたが、逆に点差を開かれ、最後は控えメンバーを投入する余裕をみせた北電が30-22で勝利した。

沖縄での琉球コラソン-湧永戦は、ホームの琉球がGKの好セーブや速攻などで先行する湧永に懸命に食い下がっていたが、20分過ぎからは攻撃ミスから無得点の時間帯が続き、古家、新らの速攻で連続得点を奪った湧永の攻勢を浴びた。20-11と湧永9点リードで迎えた後半、琉球はマンツーマン気味に当たる高めのディフェンスが機能しはじめ、速攻などで反撃に転じた。しかし、湧永も高さを生かしたディフェンスや速攻などで追いつがる琉球を寄せ付けず、34-23で快勝した。

次週は石川での全日本総合選手権（12月17～21日）もあってブレイク期間に入り、新春1月24日から再開される。女子のみ3試合が行われ、勝点2差にひしめくオムロン、ソニーセミコンダクタ九州、北國銀行の首位争いに注目。



琉球コラソンを一蹴した湧永製菓・東

第14週の日程

1月24日(土)	石川: 金沢市総合体育館 (JR北陸本線金沢駅バス25分)	13:00～(女)	北國銀行 × HC名古屋
	広島: 中区スポーツセンター (広電広電本社前駅徒歩3分)	14:00～(女)	広島メイプルレッズ × ソニーセミコンダクタ九州
	熊本: 熊本県立天草工業高校体育館 (九州産交バス「本渡バスセンター」徒歩15分)	15:00～(女)	オムロン × 三重バイオレットアイリス



400得点を達成したトヨタ車体・香川

◆ 12月6日(土) 男子
山形・山形市総合スポーツセンター

トヨタ車体 36 (²¹⁻¹⁰) 19 豊田合成
10勝1分3敗 15-9 2勝0分12敗

<1/2>	K 木 下	大 立	K <0/1>
	0/1 田 中	原	0/0
	4/5 佐々木	後 藤	0/1
	3/4 高 智	黒 木	0/1
0/1	2/5 野 村	大 橋	3/5
	1/1 藤 田	桶 谷	0/5
<0/1>	K 田 平	加 藤	2/4
	3/4 小 沢	大 植	1/1
	1/3 長谷川	渡久山	1/4 1/2
	6/6 鶴 谷	今 村	6/13 1/1
1/1	5/6 香 川	中 村	2/4
	4/6 崎 前	芳 仲	1/4
	2/5 銘 荻	藤 堂	K <1/1>
	4/6 門 山	島 中	1/6

1/2 35/52 9(FPP)5 17/48 2/3
審判(多田・中館) 観客 1253人

◆ 12月6日(土) 男子
山形・山形市総合スポーツセンター

大同特殊鋼 38 (²⁰⁻¹²) 23 Honda
13勝0分1敗 18-11 5勝0分9敗

1/1	6/10 末 松	中 谷	0/0
	2/2 浦 田	鶴 見	1/8
	1/2 富 田	柳 本	3/6 1/2
	2/7 地 引	河 瀬	4/4
	3/5 武 田	竹 田	5/9
1/1	2/3 岸 川	横 地	2/5
<1/2>	K 高 木	伊 藤	3/3
	4/6 李才佑	青 山	0/1 0/1
	1/2 千々波	吉 村	K
	4/5 山 城	瀬 元	0/0
<1/1>	K 東	野 嶋	4/5
1/1	8/10 白元詰	高 木	0/0
0/1	1/3 松 永	兼 浦	K <1/4>
	1/2 渡久川	四 方	K

3/4 35/57 11(FPP)16 22/41 1/3
審判(浜田・小笠原) 観客 1346人

◆ 12月6日(土) 男子
福井・北陸電力福井体育館フレア

北陸電力 30 (¹³⁻¹⁵) 22 トヨタ自動車
5勝0分9敗 17-7 1勝0分13敗

	K 西 田	増 田	K
	4/5 高 橋	坂 口	0/0
	10/13 神 田	岩 野	0/0
	4/4 落 合	高 野	2/6
3/3	3/6 桜 井	栗 崎	5/7
	3/8 前 田	小 林	0/0
	0/0 高 田	多和田	2/4
	2/6 杉 山	佐 藤	K
	0/0 大 谷	澤 田	1/2
	0/0 表 成	田 田	0/0
	0/0 亀 田	出 會	0/0
<1/3>	K 丸 山	稻 本	K <0/3>
	1/1 石 塚	光 増	4/13 1/1
	K 有 江	山 口	6/10 1/2

3/3 27/43 9(FPP)3 20/42 2/3
審判(岩上・山口) 観客 260人

◆ 12月6日(土) 男子
佐賀・神埼中央公園体育館

大崎電気 36 (¹⁹⁻¹⁰) 31 トヨタ紡織九州
11勝1分2敗 17-21 9勝1分4敗

	K 浦 和	松 野	K <1/1>
	5/9 前 田	中 島	1/6
	2/3 中 川	西 端	3/3 1/1
	2/4 永 島	村上直	0/1
	4/5 太 田	村上秀	7/12
	1/1 酒 井	呉相民	5/9
<2/4>	K 濱 口	鶴 田	0/0
0/1	2/5 岩 永	海 道	1/4
	2/3 東俊介	阪 谷	5/8
<1/3>	K 石 原	川 木	K
	0/0 秋 山	鈴 木	1/2 0/1
	3/4 内 田	藤 山	0/0 3/5
	5/6 猪 妻	船 木	0/0
	10/13 宮 崎	泉 原	4/5

0/1 36/53 9(FPP)5 27/50 4/7
審判(家永・福島) 観客 1588人

◆ 12月6日(土) 男子
沖縄・浦添市民体育館

湧永製菓 34 (²⁰⁻¹¹) 23 琉球
10勝1分3敗 14-12 コラソン
2勝0分12敗

	K 志 水	宮 城	1/5
	0/1 坂 本	久 高	1/1
	0/0 濱 村	村 山	5/11 1/1
	4/9 福 本	棚 原	0/0
	1/2 吉 田	岡 田	2/5
1/1	0/0 佐 藤	積	0/0
0/1	2/6 名 嘉	玉 城	0/0
0/1	8/9 東	池 田	0/0
<0/1>	K 坪 根	志 慶	真 1/3
	7/12 新	内 山	1/3
1/1	5/7 武 藤	田 場	1/1
	1/2 今 井	高 田	3/8
	K 松 村	石 田	K <2/4>
	4/5 古 家	水野紀	7/9

2/4 32/53 4(FPP)9 22/46 1/1
審判(金子・児玉) 観客 650人



北 國 銀 行

Honey Bee の名物・野路姉妹

今回は北國 Honey Bee の名物・野路姉妹を紹介したいと思います。

ハンドのことを語り出したら熱くなって話が止まらない姉の良子選手(写真⑤)と、ハンドボールだけ左投げで本当は右利きという妹の里子選手(写真⑥)は、ハンドボールの元日本代表選手が何人もいる町で育ち、そして父・嗣治さんの英才教育の影響で小さい頃からハンドボールに触れてきました。

特に里子選手は、小学校の頃から毎日100本の壁打ちをこなし、時には壁を相手にシュート練習をして左投げを習得したとか!!

昔も今も父と子の会話はハンドボール一色で他の話はないと言っているこの2人が本格的に同じチームでプレーするのは北國に入ってからです。

一緒にプレーしていて良かったことを聞くと、「何でも言

い合えたり、1人だとくじけそうな時も2人だと頑張れる」と良子選手。里子選手も「今までやってきたことが一緒だから考え方も似ていて姉のやりたいプレーが分かる」と言います。

「妹は強気で人一倍負けず嫌い、そして1対1が持ち味」と「姉は人を生かすプレーが持ち味でコートの外でも視野が広くチームのいろんな所を見ている」とお互い認め合う2人はいいライバル関係でもあります。

アイコンタクトや姉妹だからできるプレーはまだないようですが、「最終的にはそれが目標」と姉の良子選手は言います。

これからの野路姉妹のコンビプレーに乞うご期待!!!!



男女個人賞レース 第13週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 村山 裕次 (琉球コラソン) 105点 (14試合)	1 上町 史織 (北國銀行) 79点 (9試合)
2 末松 誠 (大同特殊鋼) 104点 (14試合)	2 郭 惠 静 (ソニー) 70点 (9試合)
3 宮崎 大輔 (大崎電気) 103点 (14試合)	3 樋口 真央 (ソニー) 55点 (9試合)
4 竹田 寛明 (Honda) 91点 (14試合)	4 佐久川 ひとみ (オムロン) 48点 (9試合)
5 中島 嘉之 (トヨタ紡織九州) 86点 (14試合)	5 洪 廷 昊 (オムロン) 46点 (9試合)
6 柳本 義文 (Honda) 84点 (14試合)	6 東濱 裕子 (オムロン) 44点 (9試合)
7 村上 秀行 (トヨタ紡織九州) 81点 (14試合)	7 佐藤 由紀恵 (HC名古屋) 42点 (9試合)
8 新 建 二 (湧永製薬) 77点 (14試合)	8 横嶋 かおる (北國銀行) 40点 (9試合)
9 東長濱 秀作 (湧永製薬) 76点 (13試合)	9 高栖 由香 (ソニー) 36点 (9試合)
10 門山 哲也 (トヨタ車体) 75点 (14試合)	9 菅野 喜恵 (メイプルレッズ) 36点 (9試合)
11 高 田 匠 (琉球コラソン) 68点 (13試合)	9 李 キョンミン (メイプルレッズ) 36点 (9試合)
12 白 元 喆 (大同特殊鋼) 67点 (13試合)	12 城内 真紀 (オムロン) 35点 (9試合)
12 内田 雄士 (大崎電気) 67点 (14試合)	12 植垣 暁恵 (メイプルレッズ) 35点 (9試合)
14 神田 友和 (北陸電力) 66点 (14試合)	12 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス) 35点 (9試合)
15 光増 由矢 (トヨタ自動車) 65点 (14試合)	15 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス) 34点 (9試合)

フィールド得点賞

1 宮崎 大輔 (大崎電気) 103点 (14試合)	1 郭 惠 静 (ソニー) 68点 (9試合)
2 末松 誠 (大同特殊鋼) 87点 (14試合)	2 佐久川 ひとみ (オムロン) 46点 (9試合)
3 中島 嘉之 (トヨタ紡織九州) 86点 (14試合)	3 洪 廷 昊 (オムロン) 45点 (9試合)
4 竹田 寛明 (Honda) 83点 (14試合)	3 上町 史織 (北國銀行) 45点 (9試合)
5 村上 秀行 (トヨタ紡織九州) 81点 (14試合)	5 東濱 裕子 (オムロン) 44点 (9試合)
6 新 建 二 (湧永製薬) 77点 (14試合)	6 横嶋 かおる (北國銀行) 40点 (9試合)
7 門山 哲也 (トヨタ車体) 75点 (14試合)	7 高栖 由香 (ソニー) 36点 (9試合)
7 村山 裕次 (琉球コラソン) 75点 (14試合)	7 菅野 喜恵 (メイプルレッズ) 36点 (9試合)
9 高 田 匠 (琉球コラソン) 68点 (13試合)	9 城内 真紀 (オムロン) 35点 (9試合)
10 神田 友和 (北陸電力) 66点 (14試合)	9 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス) 35点 (9試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 末松 誠 (大同特殊鋼) 87点/136射 0.640	1 横嶋 かおる (北國銀行) 40点/ 54射 0.741
2 村上 秀行 (トヨタ紡織九州) 81点/128射 0.633	2 佐久川 ひとみ (オムロン) 46点/ 64射 0.719
3 新 建 二 (湧永製薬) 77点/127射 0.606	3 城内 真紀 (オムロン) 35点/ 51射 0.686
4 中島 嘉之 (トヨタ紡織九州) 86点/143射 0.601	4 高栖 由香 (ソニー) 36点/ 55射 0.655
5 宮崎 大輔 (大崎電気) 103点/172射 0.599	5 洪 廷 昊 (オムロン) 45点/ 78射 0.577

7mスロー得点賞

1 村山 裕次 (琉球コラソン) 30点 (14試合)	1 上町 史織 (北國銀行) 34点 (9試合)
2 渡久山 慶一 (豊田合成) 23点 (14試合)	2 樋口 真央 (ソニー) 27点 (9試合)
3 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州) 21点 (13試合)	3 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス) 23点 (9試合)
4 柳本 義文 (Honda) 20点 (14試合)	4 吉田 祥子 (オムロン) 19点 (7試合)
4 桜井 渉 (北陸電力) 20点 (14試合)	5 植垣 暁恵 (メイプルレッズ) 13点 (9試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 東 佑 三 (大崎電気) 10本/ 22射 0.455	1 田代 ひろみ (北國銀行) 9本/ 18射 0.500
2 高 木 尚 (大同特殊鋼) 9本/ 22射 0.409	2 毛利 久美 (バイオレットアイリス) 5本/ 17射 0.294
3 田平 龍太郎 (トヨタ車体) 16本/ 45射 0.356	3 近藤 澄江 (HC名古屋) 8本/ 31射 0.258
4 兼浦 裕也 (Honda) 8本/ 24射 0.333	4 藤間 かおり (オムロン) 6本/ 25射 0.240
4 藤堂 聖二 (豊田合成) 8本/ 24射 0.333	5 中島 亜樹 (ソニー) 3本/ 13射 0.231

第33回日本ハンドボールリーグ成績表

第13週終了 12月6日

順位	男子	大同特殊鋼		大崎電気		トヨタ車体		湧永製薬		トヨタ紡織九州		Honda		北陸電力		琉球コラソン		豊田合成		トヨタ自動車		試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
		21	30	30	21	32	34	27	23	38	27	27	38	41	29	37	19	40	20	39	41								
1	大同特殊鋼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	13	0	1	26	480	308	172
2	大崎電気	●	○	●	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	11	1	2	23	490	364	126
3	トヨタ車体	●	●	○	○	●	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	10	1	3	21	462	358	104
4	湧永製薬	●	○	△	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	10	1	3	21	418	343	75
5	トヨタ紡織九州	●	○	●	●	△	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	9	1	4	19	449	388	61
6	H o n d a	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	5	0	9	10	394	408	-14
7	北陸電力	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	14	5	0	9	10	335	427	-92
8	琉球コラソン	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	14	2	0	12	4	379	505	-126
9	豊田合成	●	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	2	0	12	4	347	471	-124
10	トヨタ自動車	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	0	13	2	316	498	-182

順位	女子	オムロン		ソニーセミコンダクタ九州		北國銀行		広島メイプルレッズ		三重バイオレットアイリス		HC名古屋		試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
		27	31	30	29	22	25	31	34	33	18	36	36								
1	オムロン	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	9	7	1	1	15	276	190	86
2	ソニーセミコンダクタ九州	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	9	7	0	2	14	267	202	65
3	北國銀行	△	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	9	6	1	2	13	243	181	62
4	広島メイプルレッズ	●	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	9	3	0	6	6	200	232	-32
5	三重バイオレットアイリス	●	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	9	3	0	6	6	187	228	-41
6	H C 名 古 屋	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	○	9	0	0	9	0	155	295	-140

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。